

SHIRAKOBATO

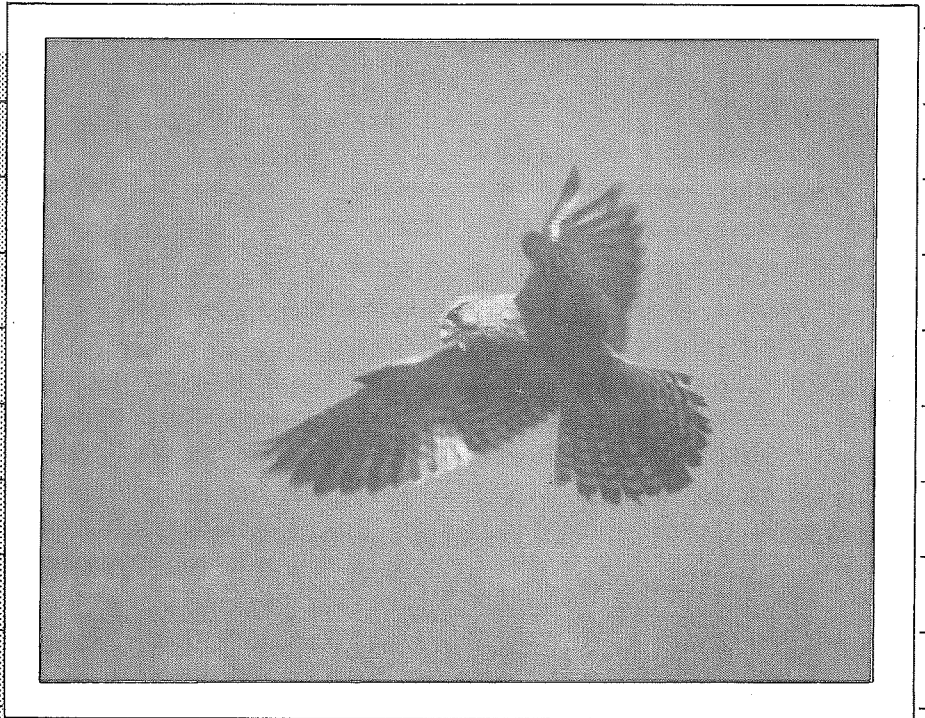
しらこぼと



1990. **1**

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 68

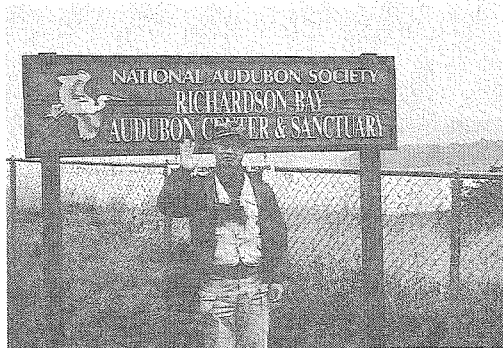
日本野鳥の会 埼玉県支部

海外探鳥の楽しみ

探鳥を始めて15～6年。その間、利尻礼文から小笠原まで一通り行ったので、5年位前から台湾・香港・フランス・スペイン・北アメリカ探鳥ツアーに参加しています。

台湾は高雄から台北への縦断の旅で、印象的な鳥はオウチュウ・ヒメオウチュウ・ゴシキドリ・カワヒタキ等で、台中に台湾野鳥の会の本部があり交流。会長はゆっくりと英語で挨拶。土産店では必ず烏龍茶を出してくれ、飲み方を説明したあと売りつけられる。

香港は山・平地・干潟等変化に富んでいるので鳥の数も多く、4回も行ってしまいました。ポピュラーな鳥はアカガシラサギ・カノコバト・シロガシラ・タカサゴモズ・アオシヨウビン・ヤマシヨウビン・ヒメヤマセミで、例によって人よりも先に見なくては気がすまないの、外人がプロミナーに入れてくれるや一番初めに見ました。感心したことは「サンキュウ」と言えば必ず「ユアウェルカム」の返事があったことです。また彼等はウォッチングのみならずリスニングにも長け、囀りは勿論のこと地鳴きも全て分かり、今鳴いたのは何の鳥かと教えてくれました。印象的なのはコゲンカンドリで、時あたかも夕暮で時に向かうトビに混じって1羽がビルに見え隠れしながら来た時のことです。いち早く外人が教えてくれましたが、ふと辺りを見るとどのビルの屋上にもそれを見ようと英国人グループが双眼鏡で眺めていて、これにも感心しました。彼等のひたむきな情熱を思い知らさ



鈴木忠雄（熊谷市）

れましたが、やがて返還される香港を思うと一抹の不安があります。

フランスの朝昼の食事はお粗末でしたが、夜はワインを飲み毎晩宴会をしているようでした。魚介類が主でコーヒーは熱く濃いのをカップに入れ、それに牛乳をたっぷり加えたまるやかなとても旨いもので、アメリカのとは比べものになりません。

スペインのフラメンコのあの独特な音楽と、指先を細やかに動かすリズムカルな踊りにはすっかり魅せられてしまいました。然し泥だらけの靴を洗面所で洗い、穴が詰まっていた時は驚きました。もし流れなければ文句言われると思い、一生懸命手で泥の塊をほぐし、そのうちに流れだした時はほっとする。鳥の方は岩壁を這うカベバシリ・白線鮮やかなカタジロワシ・夕闇迫る頃岩山に夕焼けをバックに忽然と現われたワシミミズクが心に残っています。

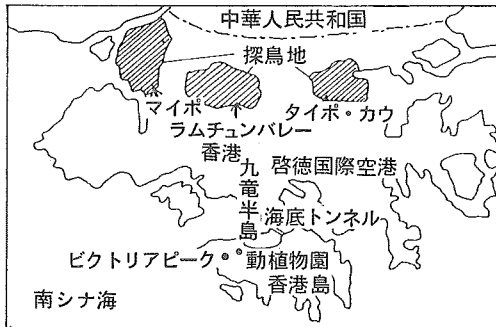
マドリッドで迎えた大晦日は、十二の煩惱を消すために売っている十二箇の葡萄を食べ、足下まで飛んでくる爆竹・シャンペンの栓を抜く音と物凄い人混みに不安の一時を過ごしました。警官も自動車の中でシャンペンに酔っている仕末です。

カリフォルニアではヒメコンドル・カタグロトビ・アカオノスリ等が普通に見られ、巣穴の前で見張り番の様にじっと立っているアナホリフクロウや、遙か彼方から降りしきる雪の様な何千何万羽のハクガンが印象的です。大晦日は部屋で食事をすることにし、可愛い少女がワインと肉料理を運んで来てくれ、思わず「ユアベリキュート」と言ったところ彼女は笑って「サンキュウ」と答えました。

食後はほろ酔い気分で街に出る。物々しい警官が十人位馬に乗り警戒している。一人では不安なのでホテルに戻る。やがて午前0時となるや一・二分おきに五回位の祝砲が轟く。いよいよ明日は帰国かと思ったら何となく郷愁にかられました。

香港の鳥たち

北川慎一（本庄市）



香港探鳥ツアー（本部主催）に参加した時のことを簡単に書いてみたいと思います。

香港というと、ビル街というイメージが強いのですが、中国国境に近い新界地区は干潟あり、湿地あり、林あり、農耕地ありで、まさに野鳥の宝庫でした。やはり冬がベストシーズンのようで、留鳥に大陸からやってきた冬鳥も加わり5日間で145種を見ることができました。（もっともシギ・チのシーズンも面白いようですが）。そして、香港はさすが、バードウォッチングの本場イギリスの統治下、セミプロのウォッチャーがおり、親切に案内してくれます。

細かい事を書いていると、とても枚挙にいとまがありませんので、代表的な探鳥地と思いつく鳥のことをいくつか――。

まず、**マイポ**。ここは、マングローブの茂る湿地であり、地元のバードウォッチャーの力で保護区になっています。コースや観察舎も、よく整備されており、何と云っても野鳥の密度が驚くほど濃い。着いてそうそう、カタシロワシが上空を横切り、アカツクシガモ、クロトキ、クロツラヘラサギ、アカガシラサギ、ムラサキサギといった水鳥やタカサゴモズ、カノコバト、シキチョウ、ハウチワドリ仲間が次々に、歩いていると現れてくれます。しかし、圧巻は何とも美しいヤマショウビンとアオショウビンです。写真で何度も何度も見て懂れていた鳥だったので、いざ目の前にいるかと思うとなかなか双眼鏡のピントも合いませんでした。その間にも上空をシロガン

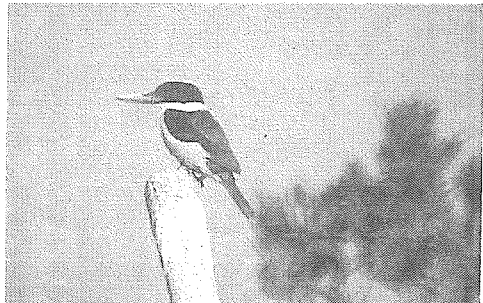
ラトビが舞い、オオバンケンが飛び出してきました。浮き橋を通過して観察小屋から覗くシーンにも絶句。ハイイロペリカンが編隊飛行で近くに降り、オニアジサシが優雅に舞い、ソリハシセイタカシギをはじめとするシギ・チやカモメのオンパレード。

山の鳥となると、**タイボ・カウ**。ここは観察路のある森の保護区です。なんと鮮やかな鳥たちが次々と出てきます。目のさめるような、緋色をしたヒイロサンショウクイや、果実の周りを飛びまわるエンビタイヨウチュウ。長い尾をヒラヒラとなびかせるオウチュウの仲間。もう書ききれない……。

そして、いかにも中国の田園風景が広がる**ラムチュン・ヴァレー**も捨てがたい所でした。ここでは、カンムリオオタカ、アカマシコ、ロクショウビタキ（羽根の渋い輝きは脳裏に焼きついて離れません）などの他に、中国の人々の生活の一部を垣間見ることもできました。

この他、時間のない方のためには、香港島の**ビクトリア・ピーク**や**香港動物園**のまわりを見て回るだけでも、多くの野鳥に出会えます。（オニカッコウ、ガビチョウの仲間、キバタン・オオルリチョウ etc・・・）

そして、香港の別の楽しみは、食事とショッピング。同じ中国料理でも、北京・広東・四川といった風に毎日が楽しみです。もちろん飲茶や中国粥も。そしてショッピング。私は、なんとツイイスの10×40を9万円（定価19万位）で買ってきました。今でも私の宝物です。何度でも行きたい所です。



普通種のヤマショウビン

埼玉県産鳥類リスト

1978年4月～1989年11月

研究部では、1987年1月にリストを発表したが、それ以降に確認された13種を含めて改訂を行った。

新しく追加された種と観察地
(番号はリストのもの)

- 11. 1988. 10 川越
- 26. 1987. 12 本庄
- 27. 1987. 12～1988. 3 本庄
- 45. 1988. 10～11 妻沼
- 104. 1989. 9 戸田
- 107. 1987. 11.～1988. 4 大宮
1988. 1 浦和
- 117. 1989. 8 本庄 (その他)
- 130. 1987. 6 川口
- 131. 1988. 4 浦和
- 169. 1988. 12 吉川
- 176. 1987. 4 浦和
- 200. 1987. 2～3 浦和
1988. 1～3 浦和
- 212. 1989. 2～3 浦和
(執筆者：石井智、榎本秀和、小淵健二、小荷田行男、登坂久雄、藤原寛治、森本國夫)

カイツブリ科

- 1 カイツブリ
- 2 ハジロカイツブリ
- 3 ミミカイツブリ
- 4 アカエリカイツブリ
- 5 カンムリカイツブリ

アホウドリ科

- 6 コアホウドリ

ミズナギドリ科

- 7 シロハラミズナギドリ
- 8 オオミズナギドリ
- 9 ハシボソミズナギドリ

ウミツバメ科

- 10 コシジロウミツバメ
- 11 クロコシジロウミツバメ

ネッタイチョウ科

- 12 アカオネッタイチョウ

ウ科

- 13 カワウ

サギ科

- 14 サンカノゴイ
- 15 ヨシゴイ
- 16 オオヨシゴイ
- 17 ミゾゴイ
- 18 ゴイサギ
- 19 ササゴイ
- 20 アカガシラサギ
- 21 アマサギ
- 22 ダイサギ
- 23 チュウサギ

- 24 コサギ
- 25 アオサギ

コウノトリ科

- 26 コウノトリ

トキ科

- 27 クロツラヘラサギ

ガンカモ科

- 28 マガン
- 29 ヒシクイ
- 30 オオハクチョウ
- 31 コハクチョウ
- 32 アカツクシガモ
- 33 オンドリ
- 34 マガモ
- 35 カルガモ
- 36 コガモ
- 37 トモエガモ
- 38 ヨシガモ
- 39 オカヨシガモ
- 40 ヒドリガモ
- 41 アメリカヒドリ
- 42 オナガガモ
- 43 シマアジ
- 44 ハシビロガモ
- 45 アカハシハジロ
- 46 ホシハジロ
- 47 オオホシハジロ
- 48 アカハジロ
- 49 キンクロハジロ
- 50 スズガモ
- 51 クロガモ
- 52 シノリガモ
- 53 ホオジロガモ
- 54 ミコアイサ
- 55 ウミアイサ
- 56 カワアイサ

ワシタカ科

- 57 ミサゴ
- 58 ハチクマ
- 59 トビ
- 60 オジロワシ
- 61 オオワシ
- 62 オオタカ
- 63 ツミ
- 64 ハイタカ
- 65 ケアシノスリ
- 66 ノスリ
- 67 サシバ
- 68 クマタカ
- 69 イヌワシ
- 70 ハイイロチュウヒ
- 71 チュウヒ

ハヤブサ科

- 72 ハヤブサ
- 73 チゴハヤブサ
- 74 コチュウゲンボウ
- 75 チョウゲンボウ

キジ科

- 76 ウズラ
- 77 コジュケイ

- 78 ヤマドリ

- 79 キジ

ツル科

- 80 マナヅル

クイナ科

- 81 クイナ
- 82 ヒメクイナ
- 83 ヒクイナ
- 84 バン
- 85 ツルクイナ
- 86 オオバン

タマシギ科

- 87 タマシギ

チドリ科

- 88 コチドリ
- 89 イカルチドリ
- 90 シロチドリ
- 91 メダイチドリ
- 92 ムナグロ
- 93 ダイゼン
- 94 ケリ
- 95 タゲリ

シギ科

- 96 キョウジョシギ
- 97 トウネン
- 98 ヒバリシギ
- 99 オジロトウネン
- 100 アメリカウズラシギ
- 101 ウズラシギ
- 102 ハマシギ
- 103 サルハマシギ
- 104 オバシギ
- 105 エリマキシギ
- 106 コモンシギ
- 107 オオハシシギ
- 108 シベリアオオハシシギ
- 109 ツルシギ
- 110 アカアシシギ
- 111 コアオアシシギ
- 112 アオアシシギ
- 113 クサシギ
- 114 タカブシギ
- 115 キアシシギ
- 116 イソシギ
- 117 ソリハシシギ
- 118 オグロシギ
- 119 オオソリハシシギ
- 120 ホウロクシギ
- 121 チュウシャクシギ
- 122 コシャクシギ
- 123 ヤマシギ
- 124 タシギ
- 125 チュウジシギ
- 126 オオジシギ

セイタカシギ科

- 127 セイタカシギ

ヒレアシシギ科

- 128 アカエリヒレアシシギ

ツバメチドリ科

- 129 ツバメチドリ

トウゾクカモメ科

- 130 クロトウゾクカモメ
131 シロハラトウゾクカモメ

カモメ科

- 132 ユリカモメ
133 セグロカモメ
134 ウミネコ
135 ミツユビカモメ
136 ハジロクロハラアジサシ
137 アジサシ
138 セグロアジサシ
139 コアジサシ

ハト科

- 140 シラコバト
141 キジバト
142 アオバト

ホトトギス科

- 143 ジュウイチ
144 カッコウ
145 ツドリ
146 ホトトギス

フクロウ科

- 147 トラフズク
148 コミミズク
149 コノハズク
150 オオコノハズク
151 アオバズク
152 フクロウ

ヨタカ科

- 153 ヨタカ

アマツバメ科

- 154 ハリオアマツバメ
155 ヒメアマツバメ
156 アマツバメ

カワセミ科

- 157 ヤマセミ
158 ヤマショウビン
159 アカショウビン
160 カワセミ

ブッポウソウ科

- 161 ブッポウソウ

ヤツガシラ科

- 162 ヤツガシラ

キツツキ科

- 163 アリスイ
164 アオゲラ
165 アカゲラ
166 オオアカゲラ
167 コゲラ

ヒバリ科

- 168 ヒバリ
169 ハマヒバリ

ツバメ科

- 170 ショウドウツバメ
171 ツバメ
172 コシアカツバメ
173 イワツバメ

セキレイ科

- 174 イワミセキレイ
175 ツメナガセキレイ

- 176 キガシラセキレイ

- 177 キセキレイ
178 ハクセキレイ
179 セグロセキレイ
180 ビンズイ
181 ムネアカタヒバリ
182 タヒバリ

サンショウウクイ科

- 183 サンショウウクイ

ヒヨドリ科

- 184 ヒヨドリ

モズ科

- 185 チゴモズ
186 モズ
187 アカモズ
188 オオモズ

レンジャク科

- 189 キレンジャク
190 ヒレンジャク

カワガラス科

- 191 カワガラス

ミソサザイ科

- 192 ミソサザイ

イワヒバリ科

- 193 イワヒバリ
194 カヤクグリ

ヒタキ科**(ツグミ亜科)**

- 195 コマドリ
196 ノゴマ
197 オガワコマドリ
198 コルリ
199 ルリビタキ
200 クロジョウビタキ
201 ジョウビタキ
202 ノビタキ
203 サバクヒタキ
204 イソヒヨドリ
205 マミジロ
206 トラツグミ
207 クロツグミ
208 アカハラ
209 シロハラ
210 マミチャジナイ
211 ツグミ
212 ノハラツグミ

(ウグイス亜科)

- 213 ヤブサメ
214 ウグイス
215 オオセッカ
216 シマセンニュウ
217 コヨシキリ
218 オオヨシキリ
219 メボソムシクイ
220 エゾムシクイ
221 センダイムシクイ
222 キクイタダキ
223 セッカ

(ヒタキ亜科)

- 224 キビタキ

- 225 ムギマキ
226 オジロビタキ
227 オオルリ
228 サメビタキ
229 エゾビタキ
230 コサメビタキ
(カササギヒタキ亜科)
231 サンコウチョウ

エナガ科

- 232 エナガ

シジュウカラ科

- 233 コガラ
234 ヒガラ
235 ヤマガラ
236 シジュウカラ

ゴジュウカラ科

- 237 ゴジュウカラ

キバシリ科

- 238 キバシリ

メジロ科

- 239 メジロ

ホオジロ科

- 240 ホオジロ
241 コジュリン
242 ホオアカ
243 カシラダカ
244 ミヤマホオジロ
245 シマアオジ
246 ノジコ
247 アオジ
248 クロジ
249 オオジュリン
250 ツメナガホオジロ

アトリ科

- 251 アトリ
252 カワラヒワ
253 マヒワ
254 ベニヒワ
255 ハギマシロ
256 オオマシロ
257 イスカ
258 ベニマシロ
259 ウソ
260 コイカル
261 イカル
262 シメ

ハタオリドリ科

- 263 ニュウナイスズメ
264 スズメ

ムクドリ科

- 265 コムクドリ
266 ムクドリ

コウライウグイス科

- 267 コウライウグイス

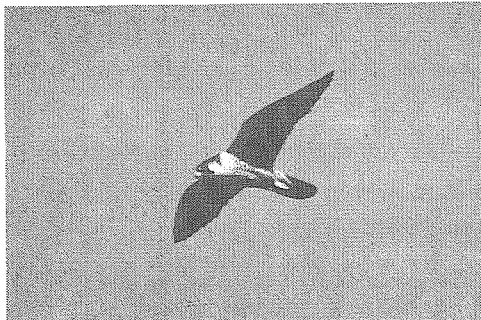
カラス科

- 268 カケス
269 オナガ
270 ホシガラス
271 ハシボンガラス
272 ハシブトガラス



野鳥情報

- ヨシゴイ** ◇10月14日、戸田市道満で♀1羽。
11月3日にも同所で1羽(駒崎政雄)。
- カンムリカイツブリ** ◇10月23日、行田市の利根大堰で3羽(井上幹男)。◇11月5日、川口市の荒川にかかるJR鉄橋下で2羽(小谷野勝栄)。◇11月7日、妻沼町の刀水橋上流で2羽(市川計彦)。◇11月13日、本庄市の阪東大橋下流で4羽(市川計彦)。
- オシドリ** ◇10月26日、寄居町の玉淀ダム上流で25羽(小淵健二)。
- アメリカヒドリ** ◇10月24日、戸田市道満で♂1羽(駒崎政雄)。◇11月22日、本庄市の阪東大橋下流で♂1羽(北川慎一)。
- シマアジ** ◇10月5日～11月24日にかけて戸田市道満で観察された。最大3羽(駒崎政雄)。
- ハシビロガモ** ◇10月29日、浦和市の大崎植物園の公園内の池で1羽(藤野富代)。
- アカハジロ** ◇10月28日、川本町本田で2羽(小淵健二)。
- スズガモ** ◇10月19日、本庄市の阪東大橋下流で2羽(町田好一郎)。
- ミサゴ** ◇10月17日、本庄市の阪東大橋下流で1羽。ホバリング後、見事に魚を捕える(市川計彦)。
- トビ** ◇10月23日、本庄市の阪東大橋下流で1羽。中州でドバトを食べていた(市川計彦)。
- オオタカ** ◇10月5日、戸田市道満で成鳥1羽。11月3日には成鳥2羽(駒崎政雄)。
◇10月23日、本庄市の阪東大橋下流で成鳥、



ハヤブサ(市川計彦)

- 幼鳥各1羽(市川計彦)。◇11月11日、嵐山町の都幾川で1羽(橋本博夫・千枝子)。
◇11月14日、妻沼町の刀水橋上流で1羽(市川計彦)。
- ツミ** ◇10月15日、坂戸市の高麗川の川辺で1羽。頭上をヒュンと通過して目の木にとまる(岩崎雄二)。
- ノスリ** ◇10月30日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(市川計彦)。
- ハヤブサ** ◇10月17日、本庄市の阪東大橋下流で1羽。ユリカモメの群れを追う。11月20日、同所で2羽。コガモを蹴落したが、釣人の近くに落ちてしまったため、あきらめる(市川計彦)。
- チョウゲンボウ** ◇10月1日、大里村津田地域で1羽。獲物を捕え、片足で器用に食べていた(岩崎雄二)。◇10月8日、吉見町南吉見の農耕地で1羽。ゴイサギを追っていた(市川計彦)。◇10月27日、鶴ヶ島町鶴ヶ丘で1羽(上田恵介)。◇11月12日、戸田市道満で3羽(高橋達也)。
- ウズラ** ◇10月10日、浦和市秋ヶ瀬A区で1羽(石井 智)。
- オオバン** ◇10月17日、行田市の利根大堰で2羽(井上幹男)。
- メダイチドリ** ◇10月3日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(井上幹男)。
- タゲリ** ◇10月18日、戸田市道満で5羽(駒崎政雄)。◇10月21日、桶川市江川の田圃で3羽(立岩恒久)。◇10月29日、富士見市の柳瀬川左岸の田圃で19羽(藤原寛治)。
◇10月31日、本庄市の上武大橋下流で4羽(井上幹男)。◇11月5日、川越市小堤の小畔川付近の田圃で30羽(鈴木暁子)。
◇11月12日、桶川市のホンダエアポート付近で100羽以上(森下 強)。◇11月13日、浦和市三室の芝川で1羽(鈴木秀男)。
◇11月19日、川口市差間の上空で5羽(星崎杉彦)。
- オジロトウネン** ◇10月5日、本庄市の阪東大橋下流でトウネンの群れ中に3羽(井上幹男)。
- アオアシシギ** ◇10月19日、浦和市三室の芝川で1羽(小谷野勝栄)。◇11月12日、戸

田市道満で1羽(高橋達也)。
アカエリヒレアシギ ◇10月10日、戸田市道満で1羽(高橋達也)。
ユリカモメ ◇10月3日、本庄市の阪東大橋下流で2羽(井上幹男)。◇10月14日、浦和市三室の芝川で1羽(楠見邦博)。
ウミネコ ◇10月25日、戸田市の荒川、戸田橋付近で3羽(浅沼源太郎)。
カッコウ ◇10月3日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(井上幹男)。◇10月15日、坂戸市の高麗川の川辺の木に1羽。大きな虫の幼虫をばくついていた。渡る前の貯えなのだろう(岩崎雄二)。
アマツバメ ◇10月24日、戸田市道満で54羽(駒崎政雄)。
ヤマセミ ◇10月19日、嵐山町鎌形八幡神社わきの都幾川の堰で1羽(橋本博夫・千枝子)。◇10月22日、小川町槻川のヤナギ橋のたもとの林で1羽。ダイビングを4回も見せてくれた(橋本博夫・千枝子)。
カワセミ ◇10月1日、大里村津田地域の排水機場の隣の和田吉野川で幼鳥1羽(岩崎雄二)。◇10月29日午後4時、東松山市下押垂地域の都幾川で1羽。陽も暮れかけた頃、河川敷の2mもある葦の上にとまって夕陽を浴びてきれいだった(岩崎雄二)。◇11月4日、狭山市の入間川、広瀬橋付近で♂♀各1羽。川の中にある2個のブロックの上で向かい合い、交互におじぎを繰り返すこと30分以上。きっとお互いの愛を確かめ合っていたんでしょ(三田長久)。
アリスイ ◇10月5日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(井上幹男)。
アオゲラ ◇10月30日午前7時、志木市本町の自宅傍の電柱に1羽飛来。通勤の為、オートバイのエンジンをかけたら、驚いたの

か飛び去る(藤原寛治)。
ショウドウツバメ ◇10月14日、戸田市道満で30羽(駒崎政雄)。
ツバメ ◇10月27日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(井上幹男)。
ビンズイ ◇10月22日、川越市鯨井新田で1羽(上田恵介)。
タヒバリ ◇10月10日、浦和市秋ヶ瀬A区で4羽(石井 智)。◇10月18日、戸田市道満で2羽(駒崎政雄)。
ツグミ ◇10月18日、蕨高校で1羽落鳥。寒気団が入り北風が強かった日の翌日、ヒヨドリと見間違えるほどやせていた(福井 巨、何森 要)。◇10月27日、大宮市北袋町で2羽(浅沼源太郎)。◇11月4日、浦和市秋ヶ瀬の水棲植物園で1羽(石井 智)。◇11月19日未明、与野駅から浦和市皇山町の自宅まで歩いて帰宅途中。たくさんのツグミが断続的に「クイックイッ」と鳴きながら南へ飛んで行った(星崎杉彦)。
ヒヨドリ(渡り) ◇10月3日午前7時半～9時、本庄市の上武大橋下流で4回にわかれて約100羽渡る(井上幹男)。◇10月15日午前7時半、桶川市江川上空を4回にわかれて約150羽南へ飛ぶ(立岩恒久)。
ヤマガラ ◇10月15日、森林公園で2羽(藤原寛治)。◇10月25日、深谷市の仙元山公園で1羽(小淵健二)。
シメ ◇10月18日、戸田市道満で1羽(駒崎政雄)。◇10月31日、本庄市の上武大橋下流で5羽(井上幹男)。◇10月31日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。◇11月4日、浦和市秋ヶ瀬ビクニックの森で数羽(石井 智)。◇11月12日、戸田市道満で10羽(高橋達也)。

表紙の写真

1989バードフォトコンテスト入選作

チョウゲンボウ (ハヤブサ科)

チョウゲンボウは、華麗にホバリングをして、獲物を探し続ける。捕らえた獲物は食べてしまう場合が多いが、一度だけ細い木のまたにネズミを貯蔵するチョウゲンボウを目撃したことがある。

この行動を見た時には賢さに感心したが、しばらくすると、カラスがネズミを盗みにやってくる。上には上がいるものだと再び私は感心した。1988年12月20日/渡良瀬遊水池にて。
 (市川計彦・川越市)

行事あんない



◎ご連絡 1月3日さぎ山公園探鳥会 バス時刻は12月号記事とは異なり、正月臨時ダイヤとなります。確認の上おでかけください。

久喜市・昭和池探鳥会

期日：1月7日(日)

集合：午前9時10分 東北本線白岡駅北口
または午前9時45分 昭和池駐車場
(白岡駅の場合、その後バス利用)

交通：東北本線大宮8:38発→白岡8:52着
解散：午後1時ごろ

担当：石川敏男、中島康夫、浅田徳次、小林恒雄、五十嵐浩

見どころ：トモエガモの本場、今年はどうか?

長野県・軽井沢探鳥会

期日：1月13日(土)

集合：午前9時 信越本線軽井沢駅前
交通：高崎線大宮6:42発普通電車に乗車、
高崎で特急に乗り換え、軽井沢駅下車。
大宮7:22発特急あさま1号利用も可。

費用：タクシー代若干をご負担願います。

解散：現地にて午後3時ごろ

担当：中島康夫、楠見邦博、草間和子

見どころ：今年も、あこがれの赤い鳥や〜。
積雪、降雪に対する準備もお忘れなく。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：1月14日(日)

集合：午前9時20分 秩父鉄道大麻生駅前
交通：秩父鉄道熊谷9:00発→大麻生9:10

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。
探鳥会に参加される場合、持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。参加費は、一般=100円、会員及び中学生以下=50円。受付は探鳥会当日です。特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。小雨決行です。

夢中になりすぎて、鳥を驚かしたり、植物を荒らしたりしないように。タバコの吸い殻やゴミを散らかすなんて事はもってのほか。いつもフィールドマナーをお忘れなく。

身支度ができたら、さあ出発!

着/ 秩父鉄道寄居8:52発→大麻生9:10着

解散：午後1時ごろ

担当：諏訪隆久、岡安征也、林滋、町田好一郎、小淵健二、逸見峻、関口善孝、高橋夕香子、田口浩司、宮坂亨

見どころ：ハクチョウさんいますか? 県北リーダーの識別も楽しめます。

川越市・西川越探鳥会

期日：1月14日(日)

集合：午前9時 川越線西川越駅前
交通：川越線大宮8:32発→川越で8:55発
高麗川行き乗り継ぎ、西川越8:59着
解散：午後1時ごろ

担当：乗田実、石井幸男、三田長久、長谷部謙二、佐久間博文、吉田喜代実

見どころ：初めての場所で探鳥会。新コースを開発した幹事自らご案内します。

ガン・カモ類一斉調査

期日：1月15日(月・祝) 午前9時集合
埼玉県支部では、今年も本部の全国一斉調査に参加します。下記の地点は特に多くの会員のご協力をお願いしたい箇所です。

◇久喜市・昭和池(昭和池駐車場)

担当：松井昭吾

◇所沢市・狭山湖(狭山湖堤防の上)

担当：石井智

いずれの地点も解散は昼近くの前定。雨天決行です。調査ですので参加費は要りません。

茨城県・菅生沼探鳥会

期日：1月20日（土）
集合：午前8時45分 東武鉄道北越谷駅東口
交通：東武伊勢崎線新越谷8：31発→北越谷
8：38着または東武伊勢崎線春日部8
：22発→北越谷8：38着、その後8：
55発岩井行きバス乗車(片道570円程)。

解散：現地にて午後2時ごろ
担当：中島康夫、石川敏男、楠見邦博
見どころ：久しぶりの菅生沼。バス利用の新
ルートです。7～8kmのコースを歩き
ますので、足ごしらえはしっかりと。

千葉県・銚子港探鳥会（要予約）

期日：1月20日（土）午後～21（日）
集合：1月20日午後5時40分 銚子駅改札口
担当：北川慎一、榎本秀和
（現地集合・解散の探鳥会です。詳細
は先月号をご覧ください。）

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：1月21日（日）
集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または
午前9時 浦和市立郷土博物館前
（北浦和駅の場合、その後バス利用）
解散：午後1時ごろ
後援：浦和市立郷土博物館
担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、乗田
実、手塚正義、伊藤芳晴、笠原伸子
見どころ：今年も探鳥会は三室から。野鳥と
ふれあうきっかけを、たくさんの人に
与えて来た古い暖簾は今年も健在。

嵐山町・菅谷館跡探鳥会

期日：1月21日（日）
集合：午前9時 東武東上線武蔵嵐山駅前
交通：東武東上線川越8：13発特急→東松山
8：32→武蔵嵐山8：41着
解散：午後1時ごろ
担当：森本國夫、諏訪隆久、橋本博夫・千枝子
見どころ：雑木林のイカルはいるか。イカル
やエナガの群が木々の枝先を次々に駆
け抜けます。川にはカワセミも。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：1月27日（土）午後1時～3時ごろ
会場：支部事務局
案内：今年も皆さんのご協力をお待ちしてお
ります。

野鳥写真クラブ定例会

とき：1月27日（土）午後3時ごろ～5時
会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ
案内：あなたのファインダーがとらえた、あ
なただけの冬景色、発表してください。

吉見町・吉見百穴周辺探鳥会

期日：1月28日（日）
集合：午前9時30分 吉見百穴入口
交通：東武東上線東松山駅東口8：58発、ま
たは高崎線鴻巣駅8：50発の東武バス
利用。百穴入口前下車徒歩3分。
解散：午後1時ごろ
担当：榎本秀和、岡安征也、吉原俊雄、石井
幸男、逸見嶮、内藤義雄、立岩恒久
見どころ：大沼に珍客を期待。田圃ではタゲ
リがひらりひらり。

越谷市・古利根川探鳥会

期日：1月28日（日）
集合：午前9時 東武鉄道北越谷駅東口
（その後現地までバス利用）
交通：東武伊勢崎線新越谷8：45発→北越谷
8：53着／ 東武伊勢崎線春日部8：
38発→北越谷8：53着
解散：午後1時ごろ
担当：山部直喜、石川敏男、木村義人
見どころ：古利根川にカモ達&カワウやカモ
メ類。あのアメリカヒドリ、今年は？

2月11日（日） 熊谷市・大麻生探鳥会
同日 蓮田市・黒浜沼探鳥会
2月12日（振休） 所沢市・狭山湖探鳥会
同日 上尾市・丸山公園探鳥会
同日 滑川町・森林公園探鳥会
2月17日（土） 群馬県・裏妙義探鳥会
2月18日（日） 三室地区および長瀬を予定

行事報告

11月1日(水)～7日(木)

バードウォッチング・フェスティバル II

一段とレベルアップしたバードフォトコンテスト1989の入選作30点の展示は、パネル購入希望者があいついで、後日事務局に忙しい思いをさせてくれました。来場者が自分でファインダーをのぞいてみて、超望遠レンズの世界を体験して好評だったバードフォトセミナー(写真下)。カレンダーが売切れちゃって事業部をあわてさせたバードショップ。入会手続きを親切に教えてくれた相談コーナー。後援3社の皆さん、ボランティアの皆さん、ありがとうございました。そして、ご苦労様でした。



バードフォトセミナー

会場ボランティア 伊藤芳晴、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、小淵健二、角田真喜子、金井祐二、草間和子、楠見文子、黒田佳子、佐藤晶人、杉本秀樹、鈴木秀男、諏訪隆久、関口喜孝、高橋夕香子、手塚正義、登坂久雄、林滋、福井恒人、増尾節子、増尾隆、町田好一郎、中村治、森本國夫、横山みどり、吉本富美子(27人)

11月3日(休) 富士見市 柳瀬川

人 70人 **天気** 晴 **鳥** カワウ ヨシゴイ
コサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オ
ナガガモ チョウゲンボウ タゲリ タカブ

シギ ユリカモメ キジバト ヒバリ キセ
キレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タ
ヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ セ
ッカ ホオジロ カシラダカ アオジ カワ
ラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ
ハシボソガラス ハシブトガラス(31種)小
春日和の一日をのんびりと楽しむ。お目当て
のタゲリも20羽以上の群れが見られてリーダ
ーもやれやれ。この他、チョウゲンボウやヨ
シゴイもよく見られた。1/3が冬鳥でもう冬
鳥の季節。

11月5日(日) 吉見町 吉見百穴周辺

人 31人 **天気** 晴 **鳥** カイツブリ カワ
ウ コサギ マガモ カルガモ コガモ ヒ
ドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシ
ハジロ キンクロハジロ カワアイサ トビ
オオタカ コジュケイ キジバト カワセミ
アオゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキ
レイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョ
ウビタキ ウグイス シジウカラ メジロ
ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ
ニューナイスズメ スズメ ムクドリ カケ
ス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラ
ス(39種)穏やかな晴天のもと、探鳥会はス
タート。大沼に向う細道にさしかかると、ニ
ュウナイスズメ♀のお出迎えにリーダーは感
激!沼ではカワウやカワアイサという、ここ
では見慣れないヤツも出る。もちろん上空に
はオオタカ。鳥合わせの時にはカワセミやア
オゲラも飛出し、最後の最後まで盛り上げて
くれた。

11月10～12日(金～日) 宮城県 伊豆沼

人 36人 **天気** 晴 **鳥** カイツブリ ハジ
ロカイツブリ ミミカイツブリ カンムリカ
イツブリ ダイサギ コサギ アオサギ シ

ジュウカラガン マガン ヒシクイ オオハク
クチョウ コハクチョウ マガモ カルガモ
コガモ トモエガモ ヨシガモ オオヨシガ
モ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ
ホシハジロ オオホシハジロ キンクロハジ
ロ スズガモ ホオジロガモ ミコアイサ
カワアイサ トビ オオタカ ノスリ コチ
ョウゲンボウ キジ オオバン ハマシギ
ツルシギ ユリカモメ キジバト カワセミ
アオゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハ
クセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒ
ヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグ
イス セッカ ヤマガラ シジュウカラ ホ
オジロ カシラダカ アオジ オオジュリン
カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ム
クドリ ハシボソガラス ハシブトガラス
(65種) 朝焼けの中、羽音と鳴き声を残して
一斉に飛び立ち、鉤になり竿になりながらの
9,000羽の雁行。ただただ圧倒されるのみ。
田んぼで餌をついばむ群れを丁寧に探してい
けば、その中にシジュウカラガンやヒシクイ
の姿も。そして、低空を一直線に飛ぶコチ
ョウゲンボウもじっくり見られた。貸切の大型
バスの中では、中島普及部長の企画による景
品付きのビンゴゲームも行われ、本当に楽し
い鳥三昧の探鳥旅行だった。

11月12日(日) 熊谷市 大麻生

人 28人 天気 晴 鳥 カイツブリ ダイ
サギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ
トビ ハイタカ チョウゲンボウ コチドリ
イカルチドリ イソシギ キジバト コゲラ
ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロ
セキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョ
ウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ
メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カ
ワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボ
ソガラス ハシブトガラス (35種) 小春日和
の一日。久しぶりに明戸堰までピクニックを
行った。冬鳥は大体揃っているようだが、な
かなか姿を現わさない。今年は全体に冬の訪
れが遅いのだろうか。越冬するカモは大麻生
にはほとんど来ていない。しかし鳥合わせを
してみると35種。やっぱり冬鳥は来ているよ

うだ。

11月19日(日) 浦和市 三室地区

人 60人 天気 晴 鳥 カイツブリ カワ
ウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ
オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ
ハシビロガモ チョウゲンボウ タカブシギ
ユリカモメ セグロカモメ キジバト カワ
セミ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ
セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ
ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウ
カラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒ
ワ シメ スズメ ムクドリ ハシブトガラ
ス ハシボソガラス (36種) カモの種類が比
較的多かった。そして、三室で初めてホシハ
ジロも出現。青空の下で首筋の茶色がきれい
であった。キンクロハジロも探鳥会以外では
出現していたが探鳥会では初めて♀1羽。カ
ワセミ、チョウゲンボウ、キセキレイ、カワ
ウと青空をバックに素晴らしい色彩を見せて
くれた。

11月23日(休) 桶川市 川田谷

人 49人 天気 曇後晴 鳥 カワウ ダイ
サギ コサギ コガモ オナガガモ オオタ
カ チョウゲンボウ コジュケイ キジ タ
ゲリ クサシギ タシギ キジバト コゲラ
ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロ
セキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョ
ウビタキ ツグミ ウグイス セッカ シジ
ュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ
アオジ オオジュリン アトリ カワラヒワ
シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ
ハシボソガラス ハシブトガラス (40種) ポ
カボカ陽気の中、今年もタゲリは健在でした。
遠くは長野や神奈川からの参加者に応えるよ
うに約80羽の『田んぼの貴公子君』はメタリ
ックに輝く姿を見せてくれた。また、途中、
すぐ目の前でオオタカがカモを急襲するシー
ンにも遭遇。思わず息をのんだ。近郊のこん
な低湿地帯でも、40種もの野鳥が見られるの
だ。本当に貴重な場所だが、残念ながら17号
バイパスの計画地となっており、あと何年こ
の姿をとどめてくれるのだろうか。



**カスミ網根絶のため、
調査にご協力ください**

カスミ網による密猟を根絶するためには、カスミ網の製造販売を禁止しなければなりません。本部では現在通産省にたいして要請行動を起こしています。

新しく法律を作っても禁止をさせるためには、全国的な世論喚起が必要です。そこで、現在、全国のペットショップ・釣具店・雑貨店などで「防鳥ネット」などという名前で売られているカスミ網の、販売実態調査を実施し、資料を作ろうとしています。

カスミ網を販売している店がありましたら、
①店の所在地と店名 ②どういう名前で売っているか ③製造メーカー ④値段 ⑤どういう人たちに、どのくらい売れているか、などについての情報を、はがきで、4月15日までに、本部(〒150 東京都渋谷区渋谷1-1-4 青山フラワービル5階(財)日本野鳥の会保護部)宛お送りください。

ただ、無理な調査による販売店とのトラブルは避けてください。分かる範囲で良いのです。ご協力をお願いします。

ついにパソコンが入りました

林滋幹事から、支部にNECの16ビットパソコンPC-9801LV21が寄贈されました。良き幹事にめぐまれた支部はしあわせです。周辺機器をそろえながら、今後研究部の調査データ整理、事務局の経理事務など、幅広く利用していきます。

1月の土曜日当番(2時～6時)

- 1月13日(土) 諏訪隆久、渡辺 敦
- 1月20日(土) 松井昭子、森本國夫
- 1月27日(土) 袋づめの会(1時から)

変わりました

渡辺周司幹事の住所が浦和市から大宮市に、森本國夫幹事の住所が大宮市から熊谷市に、横山みどり幹事=写真=の住所が相模原市から藤沢市に、ついでに名前も「小林みどり」に変わりました。



ありがとうございます

次の方々からご寄付をいただきました。

伊豆沼探鳥会参加者 6,800円、匿名(BW フェスティバルボランティア) 1,070円、林滋=切手 558円分、吉田二子 3,000円。
(50音順、敬称略)

会員数は

12月1日現在 1,162人です。

活 動 報 告

- 11月6日 普及部だよりを役員・リーダーへ発送(楠見文子)。
- 11月8日～10日 事務局当番マニュアルを作成(事務局)。
- 11月19日 普及部会議。役員会議(司会:林滋、探鳥会予定・土曜当番・その他)。
- 11月22日 事業部商品整理など(草間)。



再発足してまる6年、会員も1,100人を越え全国でも指折りの支部に成長しました。

支部活動を支えている各部門担当者は30歳台後半から40歳台と皆働き盛り、残業に次ぐ残業の合間、電車の往復、昼休み、早朝と寸暇を惜んで分担された作業を行なっています。転勤、引越、入院と担当者に不測の事態が起これば、支部活動の停滞はまぬがれない自転車操業です。
(小荷田行男)

『しらこぼと』1990年1月号(第68号)

定価 100円(会費に含まれます)

発行人 鈴木忠雄 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL・FAX 048(832)4062

〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130

印刷 望月印刷株式会社

(本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)